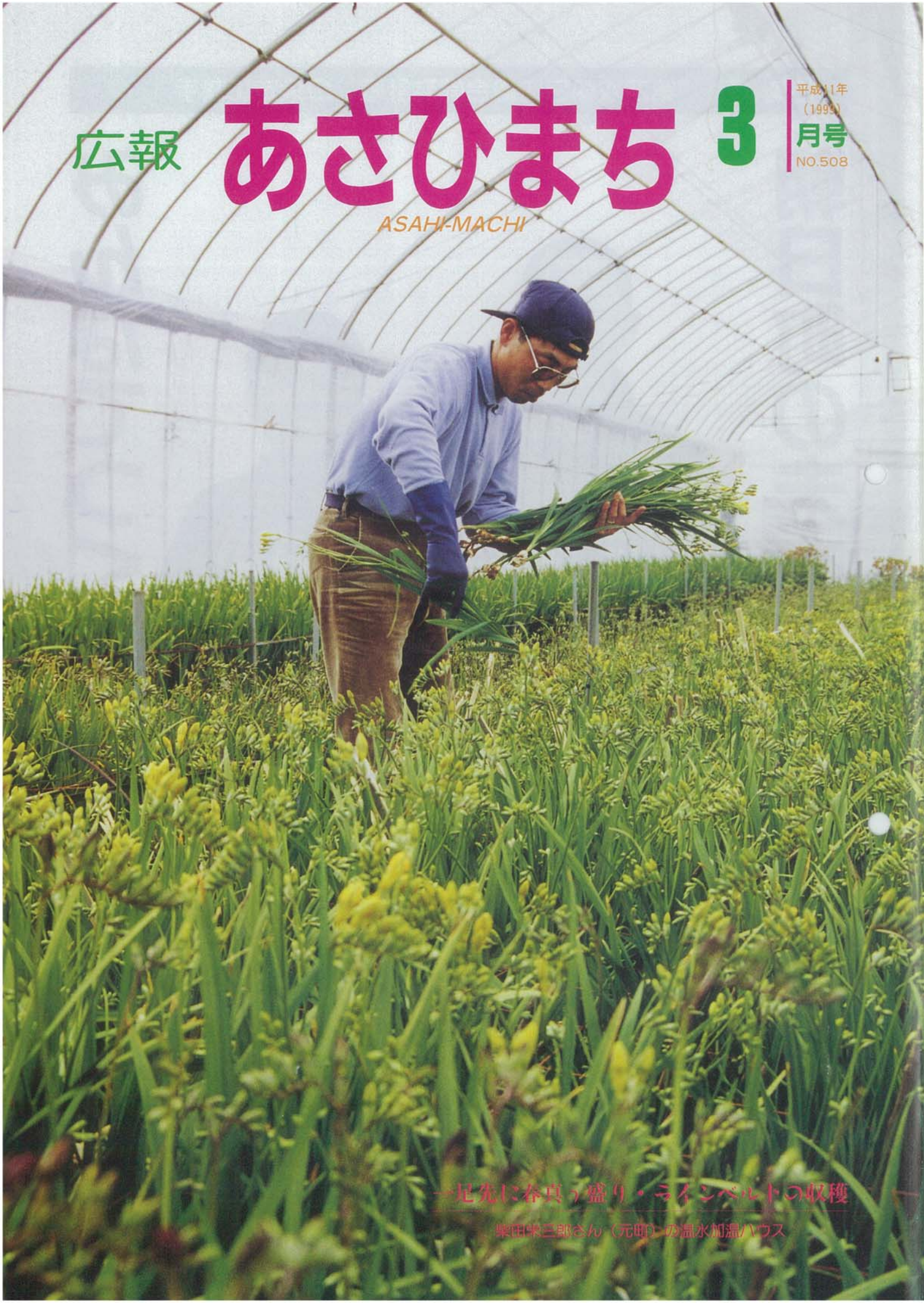
広報

あさひまち

ASAHI-MACHI

3 月号
平成11年
(1999)
NO.508



一足先に春真っ盛り・ラインベルトの収穫

柴田米三郎さん（元町）の温水加温ハウス

みんなでつくろう 朝日町の未来を

白田　淳くん（宮宿小６年）　　長岡　寛くん（宮宿小６年）

町では、自然豊かな私たちの朝日町をもっと住みやすく、住んでよかったという町にするために、平成十年度、十一年度の二カ年で「第四次朝日町総合開発計画（以下＝総合計画）」づくりに着手しました。

この総合計画は、これからの町づくりの基本的な考え方や方向性を示すもので、町のいろいろな計画の土台となるたいへん重要な計画です。町民のみなさんと行政が一丸となって、知恵やアイディアを出し合い、将来に向けてみんなが明るい希望を持てるような計画にする必要があります。

そこで今月は、総合計画の役割を紹介するとともに、新しい総合計画づくりの作業状況などをお知らせします。

総合計画は朝日町の町づくりの基本となるもっとも重要な計画

総合計画は、町づくりを進めるうえで、すべての基本となる最上位の計画です。そして、それは単に役場の仕事だけではなく、町づくりに関わるすべての団体や町民のみなさんにとっても指針となるものです。

長寿クラブや婦人会などのほとんどの団体は、年間の事業計画や予算をたてて活動を行っています。なかには一年間だけでなく、何年間もの長い期間の目標や計画で活動しているところもあるでしょう。これと同じように、町でも計画をたてて仕事をしています。

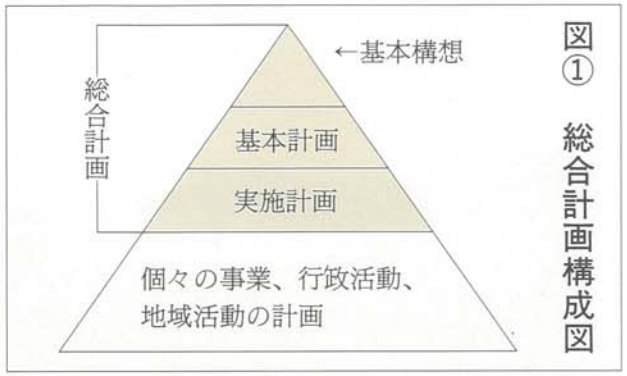
それでは、図①をご覧ください。総合計画は、町づくりの考え方や将来像を示した「基本構想」、将来像を実現するために具体的な事業内容を盛り込んだ「基本計画」、そして費用や内容などをより具体的に表した「実施計画」の三つから構成されています。町はその総合計画に従って着実に実行していく責任を負い、計画に示された施策に基づいて町づくりを行っています。

①「朝日町の将来をどのようにしていくのか」

②「町民一人ひとりが誇りをもてる住みよい町にするために、どのようなことに取り組んでいくのか」

③「町にとって本当に必要なものに、どのようにお金をつかっていくのか」

など、これからの町づくりを進めるために一致した考え方をまとめ、それに従って町づくりを進めていくのが総合計画です。



図①　総合計画構成図

二十一世紀に向け朝日町らしさを生かした総合計画

町は、これまでにも長期的な計画をつくり、住みよい町づくりを進めるためにさまざま施策を実施してきました。現在は、平成三年度につくり平成十二年を目標年度とした「第三次朝日町総合開発基本構想・基本計画」に基づいて町づくりを行っています。

しかし、時の経過とともに、この第三次計画を見直す必要がでてきたことや、まもなく目標年度を迎えることなどから、新しい総合計画をつくる必要がでてきました。さらに、人口の少子高齢化、地方分権、規制緩和、高度情報化など町を取りまく状況が大きく変化してきているなかで、時代の流れや環境の変化に的確に対応することも必要になっています。

例えば農業を考えた場合、これまでは農業生産の向上だけを考えた施策の対応でした。これからは農業に、これまでの観光や地場産業、伝統技術や生活文化といった他産業などとの連携や結び付きを深めることで、相乗効果を見いだし、町全体の総合力を高めることを考えていかなければならない時代になっているといえます。

現在は、こうした考えを踏まえながら、二十一世紀に向け朝日町が持っているよさや特性を生かし、より良い町づくりを行うための新しい総合計画づくりの作業を進めているところです。

平成十二年三月完成をめざし町職員による企画委員会を設置

総合計画づくりの現在の作業は、昨年より役場職員による企画委員会を設置し、専門家の指導をいただきながら研究や討議を行っています。平成十一年度からは、平成十二年三月の策定に向け、本格的な計画づくりの作業に入る予定です。

ここでは、これまで企画委員会などで話し合い、新しい計画に盛り込もうとしているものをいくつか紹介します。

●税収が伸びず、国県の借金も増大しており、これまでのよ

いきいきと生きがいのある老後

学校や保育園の再編（写真：建設中の大谷小学校）

うに資金提供を受けることが困難になっている。さらに本格的な行財政改革を進め、本当にやるべき仕事の洗いだしや職員意識の大変革が必要である。

●役場だけでは、本当に住みよい町づくりはできない。役場が現在行っている仕事で、民間に任せられるものは任せるべきだ。町づくりに町民のみなさんが積極的に参加できるような仕組づくりが必要である。

●ますます人口が減り高齢化が進むと予測されるので、定住人口の増加策はもちろんのこと、もっと地域間の連携を図ることや町の特色や長所を生かした観光産業づくりなどにより、交流人口を増やす必要がある。

●これまでは国や県の指導を仰ぎながら、どちらかといえば受け身の町づくりを行ってきた。これからは、町が主体となり地域の諸問題に取り組む必要がある。

●「農林産物や自然、歴史や伝統、生活など町の持っているよさ（資源）を見直し、みんなが誇りを持って幸せに暮らせる町をつくる」などの第三次総合計画のエコミュージアムの町づくりの精神を引き継ぎながら、より具体性に富んだ実現可能な新総合計画に仕上げる必要がある。

●魅力ある住みよい町づくりを進めるには、町で最も大きな組織体である役場自身が自己変革し、「地域経営」という視点に立って町づくりを進めなければならない。

など、このようなことを町づくりの課題として取り上げ、新しい計画に盛り込もうと考えています。

具体性のある解決策で諸問題を解消

新しい総合計画には、現在町が抱えている次のような課題の解決策も取り上げられます。

◆子供が少なくなっていくなかで、統合や再編などを含め将来の学校や保育園をどのように運営していくのか。

◆りんごを中心とした農業の将来をどのようにしていくのか。

◆道路や下水道の整備をどのように進めていくのか。

◆高齢者が健康で長生きし、幸せに暮らせるにはどうしたらいいのか。

◆経済が停滞しているなかで、働く場をどのように確保していくのか。

◆老人世帯が増え若い世代が減っていくなかで、どのようにして集落（区）づくりを進めていくのか。

◆勤め人が増えるなかで、役場の窓口利用時間の延長といった行政サービスの向上をどう図るのか。

◆（仮称）生涯学習センターが平成十二年度に完成するが、多くの方に利用してもらうにはどうしたらいいのか。

などです。これらについては、四月からの本格的な計画づくりのなかで話し合い、解決策を考えていく予定です。

窓口の利用時間延長などの行政サービスの向上

りんごを中心とした将来の農業

町の未来を担う子供たち。すてきな笑顔をいつの時代も……

特集 ◑ 『第四次朝日町総合開発計画』の策定に着手

みんなでつくろう 朝日町の未来を

アンケート調査や策定委員会を設置し町の将来像をつくる

四月からは、これまで準備してきたことを土台にしながら、本格的に第四次朝日町総合開発計画づくりを進めていきます。具体的には、約七百人を対象に町民意識調査を実施し、町民のみなさんが望んでいる町の将来像を把握したいと考えています。

また、各区より、すでに提出していただいた「集落づくり計画書」も参考にし、今後の町づくりに生かしていきます。さらに、議会や振興対策審議会、町内有識者による策定委員会などを組織し、多方面からの意見を取り入れながら策定したいと考えています。

町民のみなさんの知恵やアイデアでつくる朝日町の未来

町を取り巻く状況は大きく変化しています。これまでのような考え方では、町の発展や町民のみなさんの幸せの実現は、大変難しくなるでしょう。建物や道路などを整備したからそれでよいというのではなく、せっかくつくったものをもっと有効に使うにはどうすればよいのか、今あるものをもっと上手に活用するにはどうしたらよいのか、ということを本気で考えなければなりません。また、町づくりを行政だけに任せようとせず、自分の住む町をよくしようと本気で考え、それを実現するために行動することを惜しまない〝心と力〟が必要な時代になってきているのです。

これからの町発展のためには、町民のみなさんの知恵やアイデアが必要です。この計画づくりに関する町民のみなさんのご意見やご提言をお待ちしています。

◆第四次朝日町総合開発計画に関するご意見・お問い合わせは、役場企画課地域振興係（☎67―2112）または、『広報あさひまち』の折り込みはがきに記入のうえ郵送してください。

投票します　とどけよこの声この願い

統一地方選挙

4月11日は山形県議会議員選挙
4月25日は朝日町議会議員選挙
の投票日

投票のできる方

県議会議員選挙は、昭和五十四年四月十二日までに生まれた方で、平成十一年一月一日までに転入届を出した方です。

ただし、朝日町の選挙人名簿に登録されている方で、県内の市町村に住所を移した場合は、その住所移転が一回限りであれば朝日町で投票することができます。この場合、移転先の市町村が発行する「引き続き山形県内に住所を有する旨の証明書」が必要になります。

町議会議員選挙は、昭和五十四年四月二十六日までに生まれた方で、平成十一年一月十九日までに転入届を出し投票日当日に朝日町に住所を有する方です。

不在者投票がしやすくなりました

不在者投票のできる時間は、前回の参議院議員通常選挙から三時間延長され、午後八時までできるようになりました。もちろん、これまで同様に土曜、日曜日も受付を行います。

また、投票に行けない理由についても簡略化され、印鑑も不要になりましたので、どうぞお気軽においでください。

不在者投票はお早めに

投票日に、次の事由で投票所に行って投票できない方は、早めに不在者投票をしましょう。

①投票区の内外を問わず、職務または業務に従事中の方
②何らかの用務などで投票区の区域外にいる方
③病気、ケガ、お産などで著しく歩行が困難な方
※指定する病院などに入院している方は、その施設内でできますので、早めに申し出てください。（町立病院、明鏡荘、ふれあい荘が指定されています）

県議会議員選挙の不在者投票は、四月二日から四月十日まで、町議会議員選挙の不在者投票は、四月二十日から四月二十四日までの、いずれも毎日午前八時三十分から午後八時までの時間、町選挙管理委員会事務局（町中央公民館二階展示室）で受け付けます。土曜、日曜日も受け付けます。

なお、告示日前から長期出張などで不在になる場合は、滞在地の選挙管理委員会で不在者投票ができます。できる限り早めに町選挙管理委員会に申し出てください。（告示日前でも投票用紙を請求することができます）

投票日に行けない人も大丈夫

郵便（在宅）投票される方

町選挙管理委員会から郵便投票証明書の交付を受けている方は、県議会議員選挙は四月七日まで、町議会議員選挙は四月二十一日までに投票用紙の請求をしないと投票できませんので、早めに証明書を添えて請求してください。

このほか不明な点は、町選挙管理委員会（☎67－2111）にお問い合わせください。

朝日自然観「公設民営化」へ大詰め

4／1より運営開始

第三セクターに運営を委託し、新しい経営をめざす「朝日自然観」。四月からの「公設民営化」に向け、着々と準備が進められています。

朝日自然観は、平成元年にオープンした滞在・体験型の観光が楽しめる施設です。平成五年度までは黒字で推移しましたが、長引く景気の低迷や類似施設の増加、雪不足の影響などにより平成六年度以降は経営赤字を計上するにいたっています。そこで、新会社を設立することにより、公営では困難であった思い切った経営戦略を展開し、経済性の重視と公共性の維持をめざそうというものです。

現在は、新会社「㈱朝日自然観」の設立に向け関係機関に手続き中です。三月中旬には設立総会が開催され、四月一日に「㈱朝日自然観」が誕生することになります。

詳しくは、次号の『広報あさひまち』でお知らせいたします。

賛詞の盾を受け取る清野町長

全町民の交通安全運動の成果

県警交通安全表彰受賞

昨年、町内で発生した交通事故が大幅に減少した朝日町に１月22日、警察本部より賛詞が贈られました。

町内で発生した昨年の交通事故件数は21件。平成９年までの過去５年間の平均交通事故発生件数28.8件と比べ大きく減少し、減少率は27％となりました。また、前年は４人だった交通事故死亡者数もゼロになっています。

この日は、阿部県警察本部交通長らが町役場を訪問。町交通安全協会や交通安全母の会などの関係者約20人が出席するなか、阿部県警察本部交通部長より清野町長に「全町民が一体となった取り組みに敬意を表する」と記した賛詞の盾を手渡しました。清野町長は「町民のみなさんの地道な努力により賛詞をいただくことができました。さらに気を引き締め、今後も交通事故抑止に努めたい」と述べました。

全国表彰を受けた町消防団の渡辺団長（中央起立者右端）

町消防団が日本消防協会最高栄誉賞「まとい」を受賞

朝日町消防団は２月９日、日本消防会館において、日本消防協会最高栄誉賞「まとい」を受賞しました。

これは、同消防団の長い歴史と輝かしい伝統の中で、日夜努力を重ねてきた消防活動の功績が認められたものです。また、これまでにも県知事、日本消防協会長、消防庁長官表彰を受賞。平成２年には全国消防操法大会に県代表として出場し、ポンプ車の部で水出しタイム全国一位の快挙で敢闘賞に輝くなど、長年にわたり抜群の成績を堅持していることが高く評価されました。

受賞を祝い２月26日に町農業団地センターで行われた祝賀会には、清野隆町長、渡邉金二消防団長はじめ関係者ら130人が出席。渡邉団長は「この栄誉にはじることなく、これからも町民の生命財産を守る要としてがんばりたい」とあいさつ。その後、祝宴が行われ受賞を祝いました。

朝日山麓家族旅行村
Asahi自然観
だより ⑯

朝日自然観の遅い春も、ようやくその兆しをみせ始めました。待ち遠しかったスキーシーズンも終わろうとしています。今シーズンも朝日自然観スキー場をご利用いただき、誠にありがとうございました。

この春、４月１日より朝日自然観は公設民営化としてスタートします。それに伴い、ご利用料金なども一部変更となりますので概要をお知らせします。

ホテル自然観の宿泊料金は、和室と洋室が同料金となり一泊二食付の料金も統一されます。夕食を和食、洋食のいずれかを選んでいただくことについては、従来どおりです。コテージは、Ｓタイプのみが変更になります。ご予約のお電話をいただいた際に10名定員のコテージを希望されるお客様が多いため、定員をこれまでの６名から10名に増員することになりました。そのため料金も変更させていただきますが、大人数でＳタイプをご利用の場合には、これまでに比べ一人あたりの料金が割安になります。

これからも朝日自然観をよろしくお願いいたします。

❑利用料金表

☆ホテル自然観（１泊２食付、サービス料込み・税別）

《和室・洋室》

	大　人	小　人
平　日	9,000円	5,000円
休前日・特定期間	10,000円	5,500円
正月料金	13,000円	7,000円

☆コテージ（１棟利用料金、税別）

	大　人	休前日・特定期間
Ｓタイプ(10名まで)	20,000円	23,000円
Ａタイプ(６名まで)	12,000円	15,000円
Ｂタイプ(４名まで)	8,000円	11,000円

❑お祝い、ご法要、同級会なども承っておりますので、お気軽にお問い合わせください。

❑お申し込み・お問い合わせは
朝日自然観まで（☎83－7111）

原料から醸造まで徹底した〝こだわり〟で全国に誇るワインとなった朝日町ワイン

白い世界にワイン色の物語

第三回ワインの夕べ

会場は約200人の朝日町ワインファンで埋めつくされた

カメラさんぽ

「ワインの夕べ」が二月二十七日、町農業団地センターで開催されました。

三回目を迎えたこの催しは、町商工会婦人部が企画したもので、約二百人が参加。朝日町ワイン全種類と三月五日の発売に先がけアイスエッセンス「極寒の葡萄（ぶどう）の雫」の試飲会が行われました。参加者は、ムードあふれる生演奏が流れるなかワインを堪能。全国に誇る「朝日町ワイン」を存分に味わい、満足した様子でした。

限定販売のアイスエッセンスで乾杯。
発売前に味わえるのも参加者の特権

ダチョウの料理も出された豪華なディナー

「極寒の葡萄の雫」など豪華商品があたる大抽選会。
思いがけないプレゼントに大喜び

社員がソムリエとなり、ワインの味や香りを参加者に説明

おいしいワインを目の前に会話も弾む

ムードあふれる生演奏を聞きながら

まちの話題

まちの話題…❶　第11回生涯学習推進大会

女性文化教室中部茶道部

大谷長寿クラブダンス愛好会

一年間の学習成果を披露

今年度の生涯学習活動を振り返る第11回朝日町生涯学習推進大会が２月28日、町中央公民館で開催されました。

はじめに、町民大学の共通科目３単位以上、専門科目７単位以上取得した92人を代表し、最多履修者の石黒瑠璃子さん（元町）に町民大学学長の清野隆町長より履修証書が手渡されました。

続いて、学習活動の体験発表が行われ、手話を取り入れた障害者とのふれあいコンサートなどを実施している「あめっかぜ」や大谷長寿クラブダンス愛好会、女性文化教室中部茶道会が実技を交え活動の成果を披露しました。

午後からは、セカンドライフアドバイザーの飯窪長彦氏による「なが～い人生　心豊かに」と題した講演が行われ、飯窪氏は「仲間をつくり、何事も継続することが大切」と約300人の参加者に語りかけました。

まちの話題…❸　第３回昔話の夕べ

心安らぐ昔話

第３回「昔話（むがすばなす）語ってみんべ、聞いてみんべ」の夕べが３月５日、町中央公民館で開催されました。

これは、あさひまちF21「民話と昔話」グループが企画したもので、約30人が参加。細谷ヒロさん（宇津野）ら５人による「だんご地蔵」や「雪女」などの昔話が、手づくりの特製いろりを囲んで語られました。

参加者は「幼いころ、じいちゃんばあちゃんに聞いた昔話を思い出しました。いつ聞いても心安らぎますね」と語ってくれました。

まちの話題…❷　中小企業庁長官表彰

おめでとうございます

前町商工会長の鈴木清次郎さん（大町）が、中小企業庁長官表彰を受賞されました。

鈴木さんは、昭和35年の町商工会発足以来、組織拡大と商工業の振興発展に大きく貢献。特に平成８年からは同会長を務められ、卓越したアイデアによる特産品の開発と地域おこしのイベントを積極的に実施し、商工業の活性化に尽力されたことが認められての受賞となりました。

まちの話題…❺　農業経営パソコン教室

パソコンを使い新しい農業経営をめざす

農家のみなさんを対象にしたパソコン教室が２月18日、町農業研究所で行われました。

同教室は、１月から２月までの農閑期を活用し計10回にわたって開催されたもので、32人が参加。パソコンの基礎から農業簿記や顧客管理、インターネットを使った販路拡大方法などを学びました。

参加者は「はじめは本当にパソコンを操作できるのか不安でした。実際使ってみると案外簡単なものなんですね。無限の可能性を秘めたパソコンを使って、新しい農業経営にどんどん取り組んでみようと思います」と声をはずませて語ってくれました。

まちの話題…❹　あめでとうございます

町の自然と文化を伝えて

第47回県自作視聴覚教材コンクールの社会教育部門で、佐竹伸一さん（常盤）が制作した「朝日連峰の四季（スライド）」が最優秀賞に。また、県立左沢高校放送委員会（佐竹千鶴委員長・八ツ沼）が三中分校を題材にした「遺（のこ）したいもの（ビデオ）」が優秀賞に輝きました。

佐竹さんの作品は、それぞれの季節の朝日連峰の表情を取り上げたもので、カメラアングルのよさと圧倒されるような写真の美しさが評価されました。同放送委員会の作品は、高校生が地域に目を向け、地域の宝物を大切にしていこうとする姿勢が評価されての受賞となりました。佐竹伸一さんは「今後も朝日町の豊かな自然を紹介していきたい」と受賞の喜びを語ってくれました。

佐竹伸一さん

まちの話題…❼　３歳児むし歯ゼロ賞

志藤　向日葵ちゃん
（幸次・大谷一）

五十嵐　大義くん
（義行・中沢）

安藤　美穂ちゃん
（真一・西町）

白田　愛美ちゃん
（幸男・大沼）

佐竹　真澄ちゃん
（亮一・松程）

鈴木　俊佑くん
（俊一・大町）

阿部　愛美ちゃん
（秀紀・常盤）

小野　茜ちゃん
（重信・真中）

志藤　友美ちゃん
（進・助ノ巻）

村山　幸路くん
（文也・常盤）

まちの話題…❻　各種大会成績

◆国際肥やす袋尻（けっつ）ぞり王者決定戦（１/17　朝日自然観）

○親子の部
優勝　長岡和也、勉（太郎一）
２位　長岡幸子、純雄（石須部）
３位　清野　玄、均（大江町）
○男女オープンペアの部
優勝　大沼仁司、貴意（山形市）
２位　布施千絵、光治（天童市）
３位　エングラー・デービット、アン（米国）

◆朝日自然観ジャイアントスラローム大会（２/21　朝日自然観スキー場）

○男子小学生の部
優勝　加藤　真（山形市）
２位　加藤直也（山形市）
３位　渡辺良輔（四ノ沢）
○女子小学生の部
優勝　斉藤知佳（天童市）
○男子中学生の部
優勝　佐竹厚則（常盤）
２位　菊地春紀（大江町）
○男子一般の部
優勝　武田匡央（山形市）
２位　小笠原恒人（鶴岡市）
３位　須藤久仁夫（山形市）

◆朝日自然観ジュニアスキー大会（２／27　朝日自然観スキー場）

○団体の部
優勝　大谷小学校Ａ
２位　宮宿小学校Ａ
３位　立木小学校
４位　西五百川小学校女子
５位　宮宿小学校Ｂ
６位　上郷小学校
○５年男子の部
優勝　白田祥史（大谷小）
２位　阿部哲也（宮宿小）
３位　海野仁紀（西五百川小）
○５年女子の部
優勝　白川ゆり（西五百川小）
２位　浅岡春香（上郷小）
３位　白田美和（大谷小）
○６年男子の部
優勝　渡辺良輔（宮宿小）
〃　志藤淳基（大谷小）
２位　岡崎和也（宮宿小）
３位　阿部貴喜（大暮山分校）
○６年女子の部
優勝　渡辺紘子（西五百川小）
２位　清野琴絵（宮宿小）
３位　大井登美子（立木小）

みんなのひろば

さわやか新婚さん

常盤／阿部 浩孝さん 裕子さん

生まれも育ちも千葉県のお二人。同じ会社の同期入社ということで、いつのまにか交際が始まったそうです。そんなある時、浩孝さんが、母の古里朝日町で仕事と生活がしたいと一大決心。「山形に来てくれないか」とのプロポーズに「いいわよ」の一言で答えた裕子さん。愛する彼のためならば、どこへでもと心の中で決心していたそうです。

朝日町の印象は？の質問に「優しい人が多く、いろいろと声をかけてくれるのでうれしいです。地域活動も盛んで、地域のため自分のために活動しているのがすばらしいですね。はやく〝朝日町人〟になって、朝日町のよさを存分に味わいたいです」と答えてくれたお二人。現在は、二人で雪片付けをするのがとても楽しいとのことでした。今年の雪が少ないのも、アツアツの浩孝さんと裕子さんのおかげかなと納得？いつまでもお幸せに！

すてきな仲間たち ㊻

「四ノ沢書道愛好会」 心の豊かさを保つために

「のし袋の表書くらい書けるようになりたいね」と始めた四ノ沢書道愛好会。大人10人、子供６人の仲間たちと楽しんでいます。山形市の阿部旭祥先生（欅墨書院）の指導のもと、今では県書道展、欅墨書道展などへ出品し、数々の入選を果たすまでになりました。

山形市のＮＨＫ放送局のＹＹギャラリーでは年一回の作品展も行っています。今年２月には、町中央公民館で「四ノ沢書道愛好会10周年記念作品展」を開催させていただき、朝日町のみなさんにも作品にふれていただくことができました。

書は人の心を写すものとよく言われます。16人の仲間たちと書道を通じて、心の豊かさを保っていきたいと思います。　（代表　石塚千代太　67－3378）

町立図書館 新刊紹介

今月のおすすめ

「薬子の京　上・下」 三枝和子 著

薬子の変の主人公、藤原薬子は世に言われるような稀代の悪女だったのか。東宮を恋慕する母と娘の宿命、宮中での陰謀、華やかな宮中を舞台に描く歴史小説。

「レクイエム」 篠田節子 著

「芋の根元に腕を一本埋めてくれ」。大教団幹部の伯父が残した不可解な遺言。その真意を図りかねる祥子の気持ちを後押しするように、思いがけない手がかりが現れる。現代の光と闇を描く。

「お葬式のあとの事典」 浅野みゆき 著

法要、預貯金、保険、年金等の受給、遺産相続など、葬儀のあとに必要となるさまざまな手続きの概要を紹介し、届け出や手続きの具体的なポイントを書式例を交えて解説。

「碇星」 吉村 昭 著

暮れ行く人生に浮かぶ一筋の光ぼう。人はたたずみ、見つめ、そして再び歩み続ける。葬儀に欠かせぬ男にかつての上司から特別な頼みごとが、生と死の意味を慈しみの意味を込めて描く。

「熊谷キヨ子最後の旅」 ねじめ正一 著

「キヨちゃんを死なせてたまるか」。キヨ子を突然ガンが襲う。より良い療法を求めて病院を出る妹に家族を残して介護する姉・佐智子。姉妹の最後の旅が始まった。「熊谷突撃商店」感動の完結編。

今月の新刊

▶父よ、岡の上の星よ（曽野綾子）▶整形美女（姫野カオルコ）▶花散る頃の殺人（乃南アサ）▶透光の樹（高樹のぶ子）▶メトロポリタン（阿刀田高）▶定年後～もうひとつの人生への案内～（岩波書店編集部）▶落日はぬばたまに燃ゆ（黒岩重吾）▶高らかな挽歌（高井有一）▶天翔る女帝（三田誠広）▶スペースを生かした草花のガーデニング（山口まり）▶野菜いっぱいのお弁当（検見崎聡美）▶失われ行く森の自然誌～熱帯林の記憶～（大井徹）▶愛でもくらえ（ビートたけし）▶テクノ文明の未来（滝井宏臣）▶ひなのはひなの（吉川ひなの）▶本当はタカなのにヒヨコだと思っているあなに（ファースト・マナーラ）▶五体不満足（乙武洋匡）▶水の翼（小池真理子）

石塚留美子さん
（四ノ沢）

ひとことトーク

女性も楽しめるバドミントン

～バドミントンで仲間づくりと健康管理～

バドミントンを始めたきっかけは、毎年町の大会に主人が参加しており、そのチームのメンバーが足りずピンチヒッターで参加したことからでした。

初めての試合は勝てなかったものの、スピードや力だけでなく細かい動きがとても大切で、女性も楽しめるスポーツだと感じました。そして何よりも、シャトルを追いかける楽しさが好きになりました。

そんな時、バドミントンに誘ってくれる友人がおり、週一回の練習を始めました。最初はなかなか人が集まらず寂しい日もありましたが、現在はよき指導者にも恵まれ、二十人の仲間とともに汗を流しています。

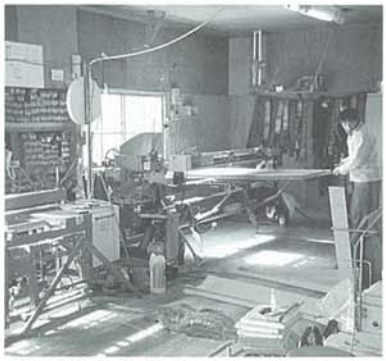
バドミントンは心と体の健康管理に最適です。これからもバドミントンを通し、多くの人と出会い語り合いたいと思います。

企業ほうもん㉛

阿部畳店

大谷五／
電話 68－2435
FAX 68－2718

機械化とはいえ仕上げは〝職人の技〟



畳づくりも機械化されてきている

社員のみなさん（右が社長の八十八さん）

▼阿部畳店を紹介してください。

昭和三十年に創業し、今年で四十四年を迎えました。現在は二代目も育ち、地元はもとより遠くは山形市など村山地区一円の住宅、事業所などの仕事を行っています。

▼いつも心掛けていることは何ですか。

畳は毎日接する生活の一部であり、できるだけお客様の希望に合わせるよう心掛けています。ホテルや旅館などの事業所の場合は、短期間に数十枚の畳をつくらなければならないためとても大変です。今は機械化が進み、昔の三分の一の労力でできるようになりました。しかし最後は、職人の技術によって仕上げられるものですから、お客様に納得していただけるよう心を込めてつくっています。

▼これからの抱負をお聞かせください。

住宅の洋風化が進んでも、日本人の生活に畳は欠かせません。洋間や廊下などへの新しい畳の使い方を研究したいと思っています。また、職人として本物の仕事を続けていきます。

町民の声

みなさんからのお便りでつくるコーナーです。
町に対する意見や要望、楽しい話題、イラスト、質問など待っています。

●あて先
朝日町大字宮宿1115番地
朝日町役場総務課文書広報係
朝日町ホームページアドレス
http://www.etos.co.jp/~asahimati/

(仮称)生涯学習センターのこけら落としに「NHKのど自慢」の招致を

町 の重要事業の一つとして建設を予定している（仮称）朝日町生涯学習センターのこけら落としに、「NHKのど自慢」を招致してはどうでしょうか。朝日町を全国に紹介できる絶好の機会と考えます。ぜひ実現してくださるようお願いします。

【鈴木紀・大谷四】

＊　＊　＊

答 （仮称）朝日町生涯学習センターは、平成十二年度のオープンをめざして計画を進めています。ご提案いただいた「NHKのど自慢」は、町をPRする有効な手段であると承知していますが、客席数（千席以上）やステージの広さ（二十メートル×二十メートル）などの開催条件があるとのことです。当センターは客席数四百七席、ステージの広さ二十メートル×九メートルを計画しており、招致は困難であると考えています。

オープンセレモニーなどのイベントについては、町内外へ広くPRできるものを検討中ですが、町民のみなさんからのご提案も、ぜひお寄せいただきたいと思います。

【企画課】

町立病院に耳鼻科の開設を

町 立病院に眼科が開設され喜んでいるところですが、耳鼻科も開設していただけないでしょうか。検討を願います。

【菊地いづみ・西町】

＊　＊　＊

答 朝日町立病院は、町民の健康を守る拠点として平成八年と九年度に診療棟の改築を行いました。改築に際しては、町の高齢化の進展、町民のみなさんからの要望などで検討した結果、既存の内科と外科に加え、整形外科と眼科の新設を計画したところです。眼科は昨年九月に開設することができました。現在は、整形外科の開設に向け、医師確保に努力しているところです。

町立病院

ご要望の耳鼻科の開設につきましては、診療室の増設と医師、看護婦の確保などの問題もあり、当面開設することは難しい状況です。しかし、今後の患者の動向などを踏まえながら検討していきたいと考えています。

【町立病院】

暖日橋に双眼鏡の設置を

暖 日橋からの景観はすばらしいですが、白鳥の飛来地まで遠すぎてよく見ることができません。双眼鏡を設置してみてはどうでしょうか。冬の使者を目の当りにできることは、なんとすばらしいことではないでしょうか。

【阿部康子・常盤】

＊　＊　＊

答 白鳥は主に暖日橋の上流に飛来するため、〝最上川の上流側の踊り場に双眼鏡の設置を〟とのご提案だと思います。しかし、暖日橋の上流側には歩道がないことや一時停止の車が増加し交通事故の原因となることも予想されます。

以上のことから、双眼鏡の設置は困難であるとの結論に達したところです。ご理解をお願いします。

【建設課】

図書券がもらえる 広報クイズ

【問題】
右の写真は町消防団が受賞した日消最高栄誉賞の「○○○」新しい町づくりの指針として平成十一年度に策定される「第○次総合開発計画」四月に実施される「統一○○選挙」

【応募方法】
正解を「広報あさひまち」の折り込みハガキに書いて送ってください。正解者の中から抽選で三人の方に図書券をプレゼントします。また、答えの下に広報の記事について感想をお聞かせください。お願いします。

【二月号の答え】 カルタ　振興　自然観

【応募者総数】 三十二人

【二月号の当選者】 佐藤裕美さん(西町)・菅井照子さん(宿)・小林富士子さん(夏草)

こせきのまど

■2月1日～28日届出

すこやかに

（出生届）

区名	出生児氏名	保護者名
真中	遠藤綾伽	隆弘
西町	阿部真生	義則
常盤	佐竹優真	健
栗木沢	菊地竜ノ介	健男
助ノ巻	佐藤優介	光広
大谷一	白田大	元
四ノ沢	近藤息吹	裕明

おしあわせに

（婚姻届）

菅井善雄（沼向）	♥	李静紅（中国）
五十嵐諭（中沢）	♥	木村圭子（神奈川県）
齋藤広治（大滝）	♥	白田千恵（大谷五）

やすらかに

（死亡届）

区名	死亡者氏名	世帯主
大谷六	白田トヨ	徳夫
大谷二	桜井ちよ子	江太郎
四ノ沢	鈴木吉三	本人
松程	鈴木れい子	敏広
古槙	清野治右エ門	直治
松程	鈴木テル	秀一
大沼	小林かつ	直廣
四ノ沢	阿部秀雄	秀一
太郎一	長岡とい	茂
太郎二	小川わか	澄夫
西町	阿部アキエ	信行
本町	吉田広美	孝義
松程	佐竹芳松	亮一
大町	佐藤徳蔵	康弘
四ノ沢	石塚彦次郎	本人
夏草	佐藤二助	信明

●掲載を希望しない方は、お届けの際にお申し出ください。

人口と世帯数

●平成11年2月28日現在

人口		9,779（減 16）
	男	4,857（減 7）
	女	4,922（減 9）
世帯数		2,602（減 6）

（ ）内前月比

くらしの知恵袋 ㉘

●その①

秋に収穫したカボチャはどうしていますか。天ぷらや小豆カボチャなど、せっかく料理してもだれも食べてくれないということはないでしょうか？

今月は、子供たちに大人気の「カボチャプディング」を作ってみましょう。

◆カボチャプディング（10個分）

《材　料》カボチャ400ｇ・生クリーム200ｇ・ブランデー大さじ2杯・牛乳100cc・粉ゼラチン10ｇ（2袋）・水50cc・砂糖100ｇ

《作り方》①カボチャは皮、種を取り適当な大きさに切り、蒸し器で蒸して裏ごしにかける。

②ゼラチンは水50ccにふり入れ、ふやかしておき（10分くらい）湯せんで溶かす。

③①に砂糖を入れ、さらに②のゼラチンを入れてよく混ぜ、砂糖を溶かす。

④③にブランデーと生クリーム、牛乳を加え混ぜ合わせて器に流し固める。

●その②

おひなさまの季節です。手づくりの桜もちでお祝いしてみませんか。

◆桜もち

《材　料》道明寺粉200ｇ・砂糖60ｇ・水180cc
食紅少々・桜の葉適宜・こしあん適宜

《作り方》①砂糖と水の全量を器に入れ、よく混ぜたところに水で溶いた食紅を入れ適度な色にする。それに道明寺粉全量を加え静かに混ぜ合わせ、数時間または一晩置く。

②①の生地を蒸し器に小さくして入れ、20分から25分位蒸す。

③②が熱いうちにあん玉を包む。（あん玉は約20ｇ位にしたものをあらかじめ丸めておく）

④塩漬けの桜の葉をさっと水洗いし水分を取り、茎を切り落として包む。

フレッシュな情報をお待ちしています

「すてきな仲間たち」「さわやか新婚さん」「ひとことトーク」「企業ほうもん」「くらしの知恵袋」の各コーナーに、登場していただける人やグループを募集しています。「出てみたい人」「出してあげたい人」がいれば、総務課文書広報係（☎67－2111）または、もよりの広報委員までご連絡ください。広報の折り込みはがきにでも結構です。お待ちしています。

■広報あさひまち　第508号　平成11年3月15日発行　■発行　山形県朝日町　■編集　朝日町広報委員会／山形県西村山郡朝日町大字宮宿1115　☎0237(67)2111　■印刷　豊田太印刷所

朝日町十景写真コンテスト入選作品㉒

●佳　作　「上郷ダム寸景」

■撮影者
柴田　昌巳さん（宇津野）

私の住んでいる集落の真上に、とても見晴らしのいい高台がある。上郷ダムを見下ろし西五百川の田園風景、奥に月山、葉山が連なる。紅葉も進んだある秋晴れの日、絶景を楽しみながらシャッターを切った。

情報BOX

雛（ひな）のみち「古今雛」一般公開

その昔、紅花商人により京都や大阪、江戸の町から村山地方に持ち込まれた雛人形。朝日町にも最上川の舟運によって、古今雛が運ばれました。時のロマンをあでやかに彩る古代雛を、ぜひご鑑賞ください。

●期日　三月二十三日（火）～二十八日（日）
●場所　大丸屋旅館（大町）
●料金　大人百円　小・中学生無料
●お問い合わせは、役場商工観光課（☎67－2113）まで

編集後記

春　夏　秋　冬

今年の冬は例年になく雪が少なかったため、日当たりのいい土手には、もうフキノトウが顔を出していました。もうすぐ、待ちに待った春が訪れます。

春といえば別れと出会いの季節です。卒業や入学、そして就職などさまざまなドラマが展開されます。そんな中、大舟木分校の閉校式が三月七日に行われ、百二十年の歴史に終止符が打たれました。「分校で習ったことを生かして本校と中学校に行ってもがんばります」と、五人の在校児童が声をそろえた別れの言葉、最後の校歌斉唱ですすり泣く女性の姿に、取材でいった私まで胸に迫る思いがしました。

二十二日には、大暮山分校の閉校式が行われますが、両分校の子供たちにエールを贈ります。

「別れは出会いの始まりといいます。きみたちなら本校に行っても大丈夫。がんばれ！」（O）